

特別委員会質問表に対する回答の概要 及び 特別委員会の論点に関する提案

2008年9月3日のバージョン

概 観

41 のアンケートがすべて終了した。各ステートメントを 1-4 に採点した完全な内容をもつ 17 のアンケートはオンラインで完了した。他の 25 はマークされた国/州の実情に最も整合するステートメント（つまりランク 1 のステートメント）だけによってハードコピー上で完了した。（1-4 システムによって混乱させられたた非ネイティブ・エングリッシュ・スピーカーからの強いフィードバックの後のハードコピー）結果は回答の広大な地理的な広がりを示す次の国、州からの内容を反映している。

カナダ、南アフリカ、オーストラリア、トンガ、イギリス、エジプト、フィジー、クック諸島、ドイツ、デンマーク、ブルネイ、ソロモン諸島、ブルガリア、米国、オランダ、バヌアツ、ナイジェリア、チェコ共和国、マラウイ、コロンビア、フランス、シンガポール、フィンランド、スワジランド、フィリピン、ノルウェー、シランカ、香港

多くの質問に対する回答は、共通の論点が異なる地域に存在し、様々の地域における特別委員会に対する支援活動によって 1 セットの出力を可能とするものであることを非常に明確な切り口、示唆によって示している。

数字の結果

アンケートにおけるランク付け質問への回答は 48 人の人が領域 1 に答えた。そしてゆっくり、領域 6 に答える 41 人まで減少している。（.3 ページの訳者の注及び添付資料 A を参照）

（中間期の）部分的な結果は明らかに統計的な偏った回答ではなく、むしろ、それは各人が当然の考慮によって質問に答えたが、アンケートの長さによって単に延期されたことを示している。

結果の概要は以下のとおりである。

- 組織的なセクション（各領域における質問の中間的設定(b))は 6 領域の総てにおいて 3 番目の答えが選択されていて最高の得点であった。
- 公共団体等のセクション(a)では、最悪の回答が 1 回選択されそして 2 番目の答えが 2 回選択された。一回最良の回答が選択されているが、多くの場合それは（最良の回答）最後（4 番目）の選択である。
- 個人のセクション(c)では、2 番目の答えが 3 回選択され、そして、3 番目の答

えが3回であった。

- 最もよく得点される領域は政策開発(1)である。
- 最悪の得点領域は様々なレベル（国/州郡/協会/学校）において利害関係人との業務の分割に関すること(3)である。

2つの注意事項がここで強調されるべきである：

- この粗雑な分析は、単に回答者が最初に選択した回答を示している。（彼らの国における状況の認識に最も適合する選択）；そして
- 分析は41の完全な回答である。

その注意事項にそって、以下の広範な結論を示すことができる。：

- いくつかのケースにおいて、疑念のある組織間の協力は1つの弱点である。そして、異なる組織の送金、熟練技術は効果的に結合できない。
- 部門を跨る効果的な作業は自由形式コメントにおいて持ち越された特別の論点である。；
- 特に政策のプログラムへの変換、業務の分割、そして効果的な学習と開発を確実にすることにおいて、明瞭な技能ギャップがある。
- 利害関係人の要求は、出力の効果的利用を確実にする転換期に、不十分な理解/不十分な収支に現れる。；
- 過去の経験から学ぶために与えられる時間と努力が不十分である。

提案された特別委員会の論点と作業計画

以上のように要約した結果、特別委員会が持つべき論点として、いかに組織するか、そして特に異なるレベル（地方/国/自治領）そして分野（公共/民間/職業的専門技術）がより効果的に協働できるか、が明瞭になったと思われる。

各レベルにおける土地管理イニシアチブの範囲について、組織が互いに効果的な調整、共同、および協力を示すことは、重要なことである。

この論点のキーとして最も適切な支援資料を開発するため、以下の作業計画及びスケジュールが2008年6月に特別委員会の会議において暫定的に同意された。

- 2009年3月の世界銀行/FIGセミナー、2009年5月のエイラートにおけるFIG Working Week、および2009年10月のハノイにおけるFIG 地域コンファレンスで提案を批評するセッションを確保してください。
- 並行して、GSDI 協会及び国連の様々な構成部門を含む関連する作業を進めている他の組織と作業をしてください。
- 2010年4月、シドニーにおけるFIG会議で、結果を提示するために2,3の‘招待論文’の技術的な会議をアレンジすると共に本格的なプレゼンテーションの

位置を探してください。内容はチェック・リスト、または新モデルを含むかもしれませぬ。

- 2010年の終わりまでには、国家間の学習とテーマを組み合わせる FIG 刊行物を作成してください;そして、国家の例を共有して、FIG メンバーと共に学習する手段を創造してください。(ことによると GSDI 協会ポータルを通じて)

入力の要求

この概要は特別委員会作業について更に聞くことを要求しているすべての応答者にコピーされている。応答と提案された作業計画に関する考えは 2008 年 9 月の終わりまでに要求されます。

Iain Greenway Task Force 議長

訳者の注 ;

アンケート集計の数字に関する記述が分かりにくいため、次の集計表を作成した。参考にして下さい。

アンケート集計表

		領域						合計
		1 政策	2 戦略	3 業区分	4 成果	5 利用	6 改良	
(a) 協働	1	13	9	13	10	6	6	57
	2	5	13	9	16	15	14	72
	3	14	14	11	12	14	15	80
	4	16	10	12	4	6	6	54
	小計	48	46	45	42	41	41	
(b) 組織内能力	1	10	14	6	8	3	4	45
	2	5	3	7	8	13	12	48
	3	24	20	26	22	22	17	131
	4	9	9	6	4	4	8	40
	小計	48	46	45	42	42	41	
(c) 主要な個人	1	10	6	5	8	2	6	37
	2	15	16	20	8	13	15	77
	3	15	15	16	19	22	12	99
	4	8	9	5	7	4	8	41
	小計	48	46	46	42	41	41	

訳 : 第 1 分科会委員長 木村幸吉